



覚えて
おこう!



火災予防の主な行事!

消防ふれあい広場

幼児期において正しい火の取り扱いに対するしつけと、消防の仕事を理解させることにより、火遊び等による火災の防止を図ることを目的に消防ふれあい広場を毎年開催しています。

写真は平成18年10月の消防ふれあい広場開催の様子である市民芸術劇場とうるま市石川会館・うるま市きむたかホールの各消防署管轄で開催しました。

消防ふれあい広場の内容は
映写で防火映画を鑑賞・消防
自動車見学・ミニ消防車搭乗・
放水体験等を実施しています。



消火器の使い方

①安全ピンを引き抜く。

注意点：どのメーカーも安全ピンは上に引き抜くタイプで統一されています。



②ホースをはずす。

注意点：ホースの中間部分を握るとはずしにくいので、ノズル付近を握ってホースをはずしましょう。



③ノズルを火元に向けレバーを強く握る。

注意点：火から約1.5～2m離れた位置でレバーを握り徐々に近づいていきます。その時、煙で火元が見づらくなりますが、しっかり火元をねらいましょう。



※炎が天井に燃え広がったら初期消火は困難ですので、早めに避難し消防署へ通報しましょう。又、火のついた油鍋には絶対に水をかけてはいけません。



住宅用火災警報器普及活動

既存住宅のすべてに設置されるよう法の趣旨や機器の種類、取り付け方などを周知するには、地域に根ざして防火防災に取り組んでおられる女性防火クラブ員と各自治会等の皆様のお力が必要であります。

うるま市消防本部では火災による犠牲者を少しでも減らし、安心安全な地域づくりに向けて高齢者世帯や独居老人宅への住宅用火災警報器の普及活動を行っています。



その他の取組み

防火対象物及び危険物施設の立入調査、学校や各事業所等の避難訓練、三署合同訓練等。



防火パレード

火災予防運動期間中の初日に行われる防火パレードには、消防車両がそれぞれの保育園（所）付近を通過する時間帯に、各幼年消防クラブ員が沿道にて防火演技を行い、その後に地域をパレードし「火の用心」を呼びかけています。